



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 庄藏

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 古木 光次

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,976	△2.4	3,256	△38.5	2,909	△39.1	1,757	△34.0
24年3月期第3四半期	45,036	92.7	5,295	—	4,776	—	2,660	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	47.76	—
24年3月期第3四半期	72.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	127,343	43,773	34.4
24年3月期	127,206	43,299	34.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 43,773百万円 24年3月期 43,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,800	△2.3	4,200	△34.8	3,700	△38.2	2,100	△33.0	57.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	36,800,000 株	24年3月期	36,800,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,194 株	24年3月期	1,194 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	36,798,806 株	24年3月期3Q	36,798,806 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要等の内需による回復は見られたものの、中国・欧州経済の減速により足踏み状態となっております。

当社事業につきましては、チタン事業では、国内向け需要が世界経済の停滞に加え、大型海水淡水化案件の遅延や原子力発電所案件の後ろ倒しにより減少しましたが、輸出向けにおいては航空機向け需要が堅調に推移し販売量が増加しました。また、販売価格が原料価格の上昇を反映しアップしております。この結果、チタン事業の売上高は27,541百万円（前年同期比3.1%増）となりました。なお、国内向け需要の期中での減速や、輸出航空機向けの2013年契約交渉において在庫調整により販売量が減少する見込みとなった事態を受け、昨年7月よりスポンジチタンの生産調整を実施してきましたが、国内向けを主体に次期需要見通しの一段の悪化が見込まれるため、本年1月より減産を強化しております。

ポリシリコン事業では、半導体需要が引き続き調整局面にあることから販売価格が下落、この結果、売上高は14,965百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

高機能材料事業では、高純度チタンの販売量が半導体需要の調整継続を受け減少したことから、売上高は1,469百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は43,976百万円（前年同期比2.4%減）、利益につきましては、営業利益3,256百万円（同38.5%減）、経常利益2,909百万円（同39.1%減）、四半期純利益1,757百万円（同34.0%減）となりました。

(参考)

(単位：百万円)

		当第3四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	12,342	15,077	△18.1
	輸出	15,198	11,647	30.5
	計	27,541	26,725	3.1
ポリシリコン事業		14,965	16,229	△7.8
高機能材料事業		1,469	2,081	△29.4
合計		43,976	45,036	△2.4

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期末の総資産の残高は、127,343百万円と前事業年度末と比べ136百万円増加いたしました。これは、現金及び預金、有形固定資産が減少したものの、棚卸資産が増加したことが主な要因であります。

② 負債

当第3四半期末の負債の残高は、83,569百万円と前事業年度末と比べ336百万円減少いたしました。これは、借入金が増加したものの、設備関係未払金及びリース債務が減少したことが主な要因であります。

③ 純資産

当第3四半期末の純資産の残高は、43,773百万円と前事業年度末と比べ473百万円増加いたしました。これは、配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、2012年8月27日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高

前事業年度末に算定した貸倒実績率と著しい変動がないと認められるため、当第3四半期末において、前事業年度の財務諸表作成で使用した貸倒実績率を用いて算定しております。

②棚卸資産の評価方法

第2四半期末の実地棚卸高を基礎として継続記録法により棚卸高の算定をしている棚卸資産については、当第3四半期末の実地棚卸を省略しております。

③税金費用

年間の税引前利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、2012年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ72百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2012年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2012年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,524	2,946
受取手形及び売掛金	20,323	21,209
商品及び製品	7,156	10,287
仕掛品	3,242	4,352
原材料及び貯蔵品	5,010	8,480
その他	2,381	1,635
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	42,635	48,908
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,715	15,671
機械及び装置（純額）	46,615	40,789
土地	16,279	16,279
建設仮勘定	1,655	1,709
その他（純額）	1,422	1,423
有形固定資産合計	81,687	75,872
無形固定資産	786	730
投資その他の資産	2,096	1,831
固定資産合計	84,570	78,434
資産合計	127,206	127,343

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2012年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2012年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,066	6,672
短期借入金	36,300	36,850
リース債務	1,098	1,337
未払法人税等	89	993
賞与引当金	376	100
設備関係支払手形	375	140
設備関係未払金	2,969	1,222
その他	1,913	1,021
流動負債合計	50,188	48,338
固定負債		
長期借入金	29,450	32,000
リース債務	1,421	361
退職給付引当金	1,295	1,382
資産除去債務	1,220	1,239
その他	329	247
固定負債合計	33,717	35,231
負債合計	83,906	83,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,712	26,182
自己株式	△9	△9
株主資本合計	43,385	43,855
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112	72
繰延ヘッジ損益	△198	△153
評価・換算差額等合計	△85	△81
純資産合計	43,299	43,773
負債純資産合計	127,206	127,343

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
売上高	45,036	43,976
売上原価	35,295	36,409
売上総利益	9,741	7,566
販売費及び一般管理費	4,446	4,309
営業利益	5,295	3,256
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	2
不用品売却益	83	76
受取賃貸料	29	39
補助金収入	92	—
助成金収入	39	46
その他	21	41
営業外収益合計	272	206
営業外費用		
支払利息	444	433
為替差損	333	108
その他	12	12
営業外費用合計	790	553
経常利益	4,776	2,909
特別損失		
固定資産除却損	177	75
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	177	76
税引前四半期純利益	4,598	2,832
法人税等	1,937	1,075
四半期純利益	2,660	1,757

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	26,725	16,229	2,081	45,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	26,725	16,229	2,081	45,036
セグメント利益	1,814	2,907	574	5,295

(注) セグメント利益と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第3四半期累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	27,541	14,965	1,469	43,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	27,541	14,965	1,469	43,976
セグメント利益	1,982	1,231	43	3,256

(注) セグメント利益と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。